



進路だより

11月13日(月)

No. 18

第二中学校進路

進路保障の取り組み

この進路だよりは、進路選択に向かっていく中でとても大切な内容です。話を聞く時は、机が整った状態で、みんな前を向いて先生の話聞いてほしいと思います。

みんなは10月25日(水)から4時間かけて進路保障の授業に取り組んできました。この授業ではさまざまなことを学びました。以下は各授業における感想です。こういう気持ちを持つてる人がいること、分かっというてな。

王様からの求人票

なんの仕事でも周りからの声になんたりしそう・影響されそうだなと思った。仕事によってしんどいことがいろいろある。

なりたい仕事になるには必ず壁があることが分かった。その壁を乗り越えと
なりたい仕事ができる。

卒業生パネルディスカッション

進路のことでいっぱい悩むことがあるけど、誰かに助けを求めることも大事だ
と思った。

本当に受験は団体戦なんだなと思った。

統一応募用紙と社用紙

昔はそういう不平等な差別があって大変だったと思うけど、それがあって今が
あることに感謝だなと思った。

誰もが平等に採用されるように、昔ながらの古い考え方や応募者本人が差別さ
れることをなくすのは、現代の社会においても大切だと思った。また偏見や差
別は本人の人権を踏みにじるとも悪いことだと分かった。

障壁の乗り越え方

一人で乗り越えられないのなら友だちなどの仲間をつくって乗り越えられる
と分かった。

人の夢を簡単に否定したり、バカにしたりすることは、その人の夢や自信を失
わせてしまうような、その人の人生を変えるものだから気を付けるべきだと思
った。

77期生のみんなは文化祭や体育祭といった学校行事で、いつも以上にその「良さ」を見せてくれます。その姿を卒業までの学校生活の中で見せてほしい。77期生127人誰一人取り残さず、みんなが支え合って受験に向かっていこう！そして、みんなが笑って卒業しよう！

ウラも見てね☞

進路保障の授業、それぞれがそれぞれに感じたものがあったんじゃないかな。77期生の中には今まさに「**進路の壁にぶつかっている人**」がいて、**それを乗り越えようと頑張っています**。その中でみんなに分かっておいてほしいことがあります。それは「**それぞれにはそれぞれの立場があって、抱えているものが違う**」ということ。先生たちもそれぞれ違う立場で育ってきて、得意なこと苦手なことも違う。当然、**77期生にも127通りの立場がある**。だから、それぞれ乗り越えなければならない壁（敵）の種類も違うし、その高さも違う。

「〇〇高校に行きたい！」っていう人がいて、合格に向けて一生懸命勉強を頑張っている。でも「〇〇高校って偏差値低いやろ？」っていう声が聞こえてきたらその人はどう思うのかな。「ほんまは私立の△△高校行きたいけど、経済的に公立高校に進むしかないんかなあ」って悩む中で、自分のことじゃなくても、他のグループの会話から「お前の家貧乏やなあ」って笑い声が聞こえてきたらどう思うのかな。多分、すごく傷つくと思うし、本当の自分の気持ちを押し殺しながら入試を迎えることになると思う。そんな嫌やん。でも、みんなの感想から分かるのが、進路保障の授業を受けて「**仲間や先生とともに頑張っていこう！**」「**人の夢を否定するのはやめよう！**」って想いを持ってくれた人がたくさんいるってこと。そういう声が大きくなってくると、どんな立場の人でも安心できるんちゃうかな。

タイトル	障壁の乗り越え方
学んだこと	進路を考えるにつれて、さまざま乗り越えなければならない壁も、無理やりではなく、みんなと協力し合うことで自分の夢へ押しすすめるんだなと思いました。

タイトル	障壁の乗り越え方
学んだこと	1人では乗り越えられないこともあるから、周りの人に相談したりするのは、声をかけてあげたり応援していかないとダメ!!

タイトル	障壁の乗り越え方
学んだこと	人の夢を否定する人がいるから、それを言わないで、夢をみさせてあげることが大切。

タイトル	障壁の乗り越え方
学んだこと	自分で解決できないことは、周りに相談する。
感じたこと	友達や先生の夢を応援しようと思った。

そんなみんなの**素直であたたかい気持ちは絶対になくしたくない**し、なくしたらあかんと思う。この気持ちを常に大切にして受験を迎えてほしい。今まで君たちの良いところをたくさん見てきたから言える。**君たちやったらお互いを大切にできる**。もちろん先生たちもみんなの進路決定に向けて、一生懸命取り組んでいく！**先生たちも含めて77期生全体で受験を乗り越えていこう！**